

健幸都市くさつの推進に向けて

～健幸都市づくり推進事業の主な取組～

令和5年2月15日

草津市



「健幸都市くさつ」の推進



○誰もが生きがいをもち、健やかで幸せな暮らしができるまち「健幸都市 くさつ」の実現に向けて、第6次総合計画に基づき様々な分野で取組を進め、これから訪れる人口減少や超高齢化への対応を図るとともに、持続可能な社会の構築を目指します。

○令和5年度からは、次の4つのキャッチフレーズに沿って取組を実施していきます。

全世代共通の健幸づくり

支え合いのまちづくり

世代ごとの健幸づくり

行動変容につながるまちづくり

全世代の健幸につながる、健幸づくりに取り組みます。

①がん検診受診率向上事業費

がん検診について「※ナッジ理論」を取り入れた個別勧奨を行うなど、検診体制やがんの啓発を充実させることにより、無関心層や働く世代の人を検診受診行動に結びつけ、がん検診の受診率向上を目指します。

※ナッジ理論：文章の表記や表示方法等を工夫することで、対象者の心理に働きかけ、より良い方向に行動を科学的に誘導する手法のこと。

【主な内容】

- ・大腸がん検便キットを同封した個別勧奨通知
- ・集団けん診の回数増、Web予約導入
- ・がん検診の情報発信

【予算額】 27,621千円



②草津駅西口自転車駐車場建替事業費

草津駅西口自転車駐車場の建替により、自転車駐車スペースのさらなる確保等を行うことで、利用者の利便性の向上および自転車の利用促進を図ります。
また、駐車場に併設して閉鎖型喫煙所を整備し、路上喫煙禁止の徹底と受動喫煙の防止を図ります。

【主な内容】

- ・西口自転車駐車場建替工事（閉鎖型喫煙所含む）
- ・西口自転車駐車場建替工事監理業務（ 〃 ）

【予算額】 232,700千円



基本設計（令和3年度実施）

③読書のまち推進費

図書館の貸出冊数が多いほど学習率や読書率が高く、結果として健康寿命が長いという分析結果が出ています。
図書館（本館）開館40周年記念事業として、より多くの市民に図書館を活用いただけるよう、講演会の開催や施設のリニューアル等を行うとともに、図書館を中心に、各小中学校等において、読書に親しむ機会の創出につなげます。

【主な内容】

- ・セレモニーや記念講演会の開催
- ・読書空間と学習スペースの整備
- ・小中学校の児童生徒向け読書ポイント事業

【予算額】 53,018千円



世代ごとの課題を踏まえた、健幸づくりに取り組みます。

①eスポーツ普及啓発費

高齢者を対象に、eスポーツ（コンピューターゲームを使った対戦型競技）の普及啓発を推進し、交流機会の創出や脳の活性化等を通じた介護予防活動につなげます。イベント等で体験ブースを出展するほか、地域での取組を促進するため、導入を希望する事業所等（地域サロン・介護事業所等）に対し、アドバイザーを派遣し、自主運営につなげることを目指します。

【主な内容】

- ・ イベント運営
- ・ eスポーツ運営サポート講座（アドバイザー派遣）

【予算額】 690千円



②子宮頸がん予防ワクチン接種費

令和5年度から従来のワクチンよりも子宮頸がん予防効果が高い「シルガード9（9価HPVワクチン）」を新たに追加し、地域医療機関において費用負担なく個別接種を実施するとともに、対象者全員に子宮頸がん検診の必要性や検診受診について個別勧奨を行うことで、子宮頸がんの発症や死亡率の減少に取り組みます。

【主な内容】

- ・ シルガード9（9価HPVワクチン）の定期接種
- ・ 個別勧奨通知

【予算額】 83,988千円



③子ども・若者育成支援推進費

不登校やひきこもり、若年無業者（ニート）やヤングケアラーなど、困難や課題を抱える子ども・若者を適切な支援につなげるため、総合相談窓口における悩みの受け止めや関係者による支援協議会の運営に継続して取り組むとともに、子ども・若者ケアラーへの支援、子どもや若者の居場所の設置等を通じて、困難を抱える子ども・若者や家族の自立を支援します。

【主な内容】

- ・ 子ども・若者ケアラー家庭支援モデルの検討・試行
- ・ 子ども・若者を対象とする「居場所」の設置・運営

【予算額】 10,221千円



地域における支え合いの輪を広げることで、健幸づくりに取り組みます。

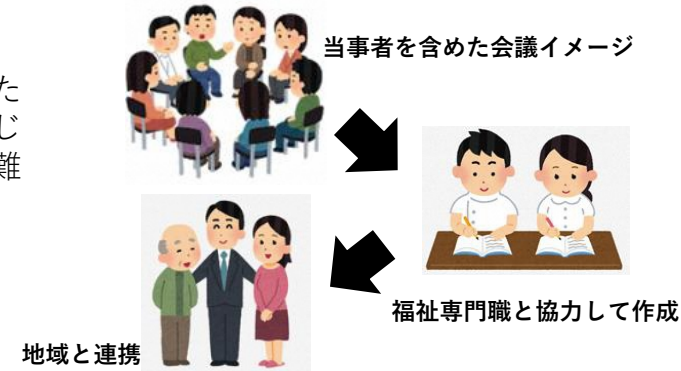
①個別避難計画作成費

「草津市避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）」に基づき、従来から取り組んでいた災害時要援護者登録制度を拡充し、居住地域の災害リスクや一人ひとりの身体状況などに応じて「誰とどこに避難するか」を具体的に定め、より実効的な避難を確保するための「個別避難計画」の作成を推進し、地域の防災力の向上を図ります。

【主な内容】

- ・協力団体へ制度説明の実施
- ・個別避難計画の作成

【予算額】 2,845千円



②基幹相談支援センター運営費

各関係機関等と連携を図りながら市内の障害者をサポートできる相談支援の中核機関として、基幹相談支援センターを設置し、総合的な自立支援・相談支援を実施していくことで、更なる相談支援体制の充実・強化を目指します。

【主な内容】

- ・基礎相談支援センター開設
（草津市障害者福祉センター内）

【予算額】 12,906千円



③多機関協働等事業費

介護・障害・子ども・生活困窮の各分野における支援だけでは対応しきれないような住民の複雑化・複合化した支援ニーズにも対応できる包括的な支援体制を構築するため、既存の相談支援と地域づくり支援に加えて、各支援を支える多機関協働事業費、参加支援事業費、アウトリーチ事業費を一体的に取り組みます。

【主な内容】

- ・多機関協働事業費（既存の支援関係機関のサポート等）
- ・参加支援事業費（地域資源の開拓や支援のためのネットワーク構築）
- ・アウトリーチ事業費（支援が届いていない方への継続的な伴走支援）

【予算額】 16,071千円



健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりに取り組みます。

①健幸フェア開催費、「健幸都市くさつ」広報・啓発費

健幸づくりの重要性を発信し、より多くの市民に「健幸」を意識してもらうため、草津川跡地公園における健幸イベント「健幸フェア」を開催するほか、「健幸都市くさつ」のPR動画を制作し、映画館で放映するなどにより、様々な方法で情報発信の強化に取り組みます。

【主な内容】

- ・健幸フェアの開催
- ・「健幸都市くさつ」PR動画作成、放映 ほか
- ・デザインマンホールの設置（4か所）

【予算額】 10,622千円



健幸フェア（令和4年度）



健幸都市くさつPR動画上映（イメージ）

②健幸都市づくり推進費（共同研究）

健幸への意識や関心が低い方々（健幸無関心層）への効果的なアプローチの方策を検討するため、立命館大学等の協力の下で「働き世代の健幸」に関する共同研究を行うとともに、市民に「歩いてもらうための仕掛けづくり」を検討するためのウォーキングモデル事業を実施します。

【主な内容】

- ・「働き世代の健幸」に関する共同研究
- ・ウォーキングモデル事業の実施

【予算額】 9,878千円



ウォーキングモデル事業
（イメージ）



共同研究事業における
生化学検査の様子（イメージ）

③地域公共交通活性化推進費

市内の地域公共交通を全面的に再点検し、既存の地域公共交通網形成計画を改編して草津市地域公共交通計画を策定します。これにより地域の特性に考慮した地域公共交通の再編を実施し、将来の人口減少局面においても持続可能な都市構造の実現を目指します。

【主な内容】

- ・草津市地域公共交通計画の策定

【予算額】 11,693千円



草津市地域公共交通計画